



経営者が商業出版で 本を出すことの価値とは？

スピーカー

白根 智彦さん

(株式会社イエローズ 代表取締役)

1965 年生まれ。新卒でベッカーズ株式会社に入社し、ファストフードハンバーガーチェーン『ベッカーズ』、カフェチェーン『ベックスコーヒーショップ』の立ち上げに従事する。その後、30 業態以上の「エキナカ」事業のメニュー開発を担当。2010 年に独立し、飲食コンサルティングを手掛けつつ、複数のワインビストロを運営する。ハンバーガーとは『ベッカーズ』入社以来 30 年以上関わりを持ち、日本で唯一のバーガー研究家を名乗る。



ブランディングクラブ
オンラインサロン

8月19日(火)

17:30~18:30

- ◆Zoom によるオンライン開催
(17:15 に Zoom を立ち上げます)
- ◆事前に参加の可否をご連絡ください

書籍は企業の価値をダイレクトに伝える強力なツールです

中小企業が自社のブランド価値を高めるためにはさまざまな方法があります。中でも、経営者による商業出版は単なる書籍の販売を超え、企業価値の向上や社会的影響力の拡大を実現するための強力な手段です。

なぜならば、経営者や企業の専門性や知識が広く認知され、信頼性が向上するからです。また、書籍を通じて経営者の思いや理念を明確に伝えることで、社内外での理念共有が進み、組織の一体感や帰属意識を高める効果があります。

さらに、書籍は名刺代わりとしても活用でき、営業活動や顧客へのアプローチの際に強力なツールとなります。とくに、書籍を直接手渡すことで、企業の価値を相手に伝えることが可能となります。

今回のサロンでは、ハンバーガーに関する書籍を 2 冊出版されている白根さんをスピーカーに迎え、商業出版で書籍を出すことの価値を語っていただきます。また、出版までのプロセスや出版の裏事情もお話いただきます。



次回
予告

9/4日(木) 17:30~18:30
菊地辰徳さん(株式会社 haku 代表取締役)
人口 18,000 人弱の白老町に
「brew gallery」を回廊した目的とは？



ブランディングで中小企業と地域のいまを輝かせます

株式会社 クエストリー

TEL:03-5148-2508

<https://www.questory.co.jp>